

## その時その時の「出会い」を大切にしたい



4月は職場や学校などで新生活が始まる時期です！

これからの生活に不安な気持ちでいる人や、様々な新しい出会いを楽しみにワクワク感でいっぱいの人もいることでしょう。

これから出会う人の中には、障がいのある人やセクシュアルマイノリティの人、あるいは外国にルーツを持つ人など様々な人権問題に悩んでいる人がいるかもしれません。これまで身近にいた人でも、何かに悩み誰にも言えずに一人で苦しんでいる人がいたかもしれません。私もある人権問題に悩める人物の一人ですが…。

人権問題に悩みを抱えている人と実際に会ったり相談を受けたりしたとき、私たちはどのように接すれば良いのでしょうか？逆にどうしてもらいたいのでしょうか？その答えには簡単にたどり着けないかもしれません。

一方的に相手の気持ちを考えずに立ち入り過ぎてもよくありませんが、距離を取り過ぎても相手を傷つけてしまうこともあります。難しいですね。

私が思うに大切なのは、相手が抱えている問題について知ろうとする意思を持つこと。そして、どんなことで悩んでいるかを聞いたり、直接聞きにくい場合は相手に寄り添い、相手の気持ちを理解しようと努力することで良好な関係に近づけるのではないかと前向きな気持ちを持っています。

どんな接し方をすれば相手が嫌な想いをしないで済むかは一人ひとり違って、中には、悩んでいることに触れてほしくないと思っている人もいますでしょう。

しかし、何も知らないことで相手を知らず知らずのうちに傷つけてしまう可能性もある。どんな問題であっても『自分には関係ない』と無関心にならず、日頃から様々な問題に関心を持つておくことで今後の新生活がより豊かになる良い『出会い』につながると大いに期待したいですね！

あらゆる人権に関する想いをこのコーナーで毎月更新していく予定です。ある一人のおばさまの「おひさま」を通して目を通してもらえたらうれしいです。